



令和7年度の主な事業



恩納村庁舎改修工事

役場庁舎へ利便性向上のための改修や、再生可能エネルギー(太陽光発電)やLED照明を導入することにより、維持費の削減や災害に強い庁舎作りを目指す。

恩納村立安富祖小学校 駐車場舗装工事

児童が安全で快適な教育環境の中で学校生活を送ることができるよう学校施設整備に計画的に取り組んでいます。



赤間運動場 屋根増築工事

天候に左右されない快適な観戦環境の提供を行うため、メインスタンドの全体をカバーできる屋根整備を行います。



前兼久漁港観光関連施設整備工事

観光客の受入体制の強化と、漁港利用者の利便性の向上を図るために施設整備を行います。
(護岸の新設・浮き桟橋の新設・管理棟新設)

下勢高排水路改修工事

勢高地区(南恩納区)の冠水対策事業として、下勢高排水路(約180m)の拡張工事を実施し、地域住民の生活環境の改善を図ります。

名嘉真地区処理施設建設工事



農業集落地におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設の整備により、農業用排水の水質の汚泥を防止し、農村地域の健全な水循環に貢献するとともに、農村の基礎的な生活環境の向上を図る。

野原地区畑かん施設敷設替工事

農業用水の安定供給及び維持管理と労力の軽減を図るために水路布設替工事を行います。



恩納村施設型共同墓新設工事

個人墓の集約化を促進するとともに、今後の整備についても、地域の要望に基づいて検討してまいります。

喜瀬武原農道橋更新工事

喜瀬武原区の農道橋(長浜橋)の老朽化が進行し、安全性に問題があるため更新工事を行う。

委員長報告抜粋

令和7年度一般会計予算概要

一般会計予算

147億4,038万1千円

対前年度比 37億3,326万円
33.9%の増

自主財源
82億3,523万8千円
55.9%

依存財源
65億514万3千円
44.1%

歳入、歳出各項目の詳しい内訳は、
村広報誌をご確認ください。



●歳入歳出総額:147億4,038万1千円(対前年度比37億3,326万円(33.9%)の増)

※予算の内訳として、自主財源82億3,523万8千円(予算全体に占める割合55.9%)で、対前年度比9億1,356万4千円の増。
依存財源65億514万3千円(予算全体に占める割合44.1%)で、対前年度比28億1,969万6千円の増。

■予算概要説明に関する質疑応答

質 普通建設事業費の主な事業の内、恩納村庁舎改修工事15億4,200万円について、村の負担は何割になるか。
答 国県補助金5億4,000万円が3分の1となっており、村の実質の負担は、3分の2の10億200万円であり、内訳としては、起債が3億500万円、公共施設整備基金から6億9,700万円です。

■歳入・歳出に関する質疑

質 國際交流派遣業務委託料について。
答 アメリカホームステイプログラムということで、村内に住んでいる中学生、高校生をアメリカ合衆国に夏休みの3週間で派遣をする事業で、今まで村から45万円程度、約3分の2の補助をしていたのですが、それでも個人の負担が大きくなっているということで、近隣の市町村と大体合わせるような形で、個人負担10万円でいいけるような形で考えています。
質 新規事業のガバメントクラウド及びガバメントクラウド基盤使用料2,656万4千円増について、住民情報システム移行対応委託費とは。
答 ガバメントクラウドに移行するための回線使用料、クラウド使用料、システム標準化の対応費です。一部は国からの補助があります。
質 恩納村空家活用事業補助金1,000万円について。
答 上限200万円として5件を見積もり、継続事業として考えています。
質 恩納村若者就業支援プログラムの内容について。
答 若者の就業の機会を拡大及び創出するため、経済的困窮する若者に対し、就業する際に有利となる資格取得等に要する費用を予算の範囲内において支給し、失業率の改善を図ることを目的としています。基本的に青年開発隊に入隊する方の入隊等の補助をし、給付金を支給するとしています。対象とする方が、恩納村に在住する方、15歳から39歳以下の方を対象としています。
質 補助及び交付金で子育て用品支援助成金、令和6年10月から開始されていますが、この400万円の内訳、概要について。
答 こちらはベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシート、ベビーバスなどの用品をレンタルで貸出するものになります。上限が10万円ですので、1人10万円の40人分として計上しています。対象者は、村内に住所を有する者、出産を予定する者(出産2ヶ月前から申請可能)1歳未満の子どもの保護者となっています。
質 誘客事業で入域観光客を増やすこととオーバーツーリズム対策の基本的な方針は。
答 観光の誘致と併せて住環境の保全をすることは、相反するものではなく、両立させていかなければならないと考えています。

■特別会計予算

	歳入・歳出
国民健康保険	16億2,433万9千円
後期高齢者医療	1億5,053万9千円

■下水道事業会計予算

	下水道事業収益	下水道事業費用
下水道事業収益	4億8,272万8千円	4億7,622万8千円
資本的収入	7億8,550万円	8億2,827万円

■水道事業会計予算

	水道事業収益	水道事業費用
水道事業収益	9億2,714万円	9億2,639万1千円
資本的収入	2億2,200万3千円	3億7,401万1千円